

はじめ新報

Vol.12

【編集・発行】
船田はじめ事務所
〒320-0047
栃木県宇都宮市一の沢1-2-6
TEL 028-666-8735
FAX 028-666-8736
URL <http://www.funada.org/>

2011年の春を迎え皆様には健やかに過ごしのことと御慶び申し上げます。民主党政権が誕生してから1年半。外交・内政いずれも迷走続きで国民の期待は完全に裏切られたばかりか、世界の中の日本の価値がどんどん下がってしまいました。日本の再生のため、私は身を挺して「まともな政治」の復活に邁進してまいります。今年もご指導のほど、宜しくお願いいたします。

一昨年夏に国民の期待を担って誕生した民主党政権でしたが、1年半も過ぎないうちに期待は完全に裏切られました。普天間基地移転先の迷走にはじまり、消費税増税に対する腰砕けや、鳴り物入りのマニフェストが財源不足により次々と修正される始末です。

またこれらの問題は、鳩山前総理や菅総理の個人的な限界や失敗の原因があるだけでなく、民主党の体質そのものに帰されるのです。

かれらはまず、教育や科学技術など将来のための「投資」という要素を軽んじています。

事業仕分け作業における「1番じやなきやだめなんですか」のような発言は、政策決定のあちこちで聞かれます。かれらには「ムダか、ムダでないか」の二者択一しかないようです。これでは日本の将来の成長は望むべくもありません。

かれらのマニフェストは「ばらまき政策」



でちりばめられています。こども手当、農家戸別補償制度、高速道路無料化など枚挙に暇がありません。財源に余裕があればそれも悪くはありませんが、GDPの2年分も赤字国債が積みあがった危機的な日本において、これを進めることは、現在と将来の国民に対する裏切りです。またばらまきによって、国民

の美徳であった勤労の精神やモラルを守っていきます。私はこれ以上日本が沈没しないよう、全力で再起に向けた活動を展開して、「真つ当な政治」を必ず実現します。皆さまの今年1年のご指導・ご鞭撻を、どうぞ宜しくお願いいたします。

国を守り地域の安全・安心を徹底的に守ることは、政治の1丁目1番地です。私はまずこのことを愚直に追求していきます。また科学技術や教育など将来への投資についてより手厚く資源配分して、景気の回復や雇用の拡大をしっかりと図っていきます。日本や地域の伝統や文化を守り、日本人

のモラルがどんどん劣化していくことを、これ以上放置することは出来ません。かれらという「政治主導」は決して間違いいではありませんが、かといって政策遂行のプロセスから官僚をまったく排除しては、それがうまくいくはずがありません。官僚の智慧を利用しつつ、肝心なところは政治家が決めれば問題はないはずですが、官僚とうまい付き合い方を学ばなければなりません。私は新しいポスターに「真つ当な政治、ブレない政治を実現します」と、アピールを書き込みました。「ブレない政治」は皆さんよく分かってくれますが、「真つ当な政治」はわかりにくいといわれます。それは端的に言えば、これまで述べた民主党政治と真逆のことを実現することです。

はじめの「二オン」

「変わるもの」と「変わらないもの」

この正月には恒例の伊勢神宮参拝を行った。山陰地方などでの豪雪の影響もあって、例年より出足がやや遅れたとはいえ、境内は多くの参拝客でこたえ返っていた。毎年感じるのは、若い人々がどんどん増えてきたことだ。信仰心が薄れた現代において、このような傾向は大変望ましいことだが、困ったこともいくつかある。

ひとつは、若い人々の参拝の動機。いま流行の「スビリッツチュアル」ブームや「パワースポット」を取り上げた雑誌にのせられ、物見遊山気分で見られる若者も少なくないという。ただ私は、このような人たちでも伊勢神宮の懐に抱かれて、何かを肌で感じ取ってくれば、とても貴重な経験になるのではと思う。

しかしもうひとつの問題は、「整列参拝」というのが若い人々を中心に、主流化していることだ。昔のように先を争って神前に向かい、遠くからでも賽銭を投げてさつさと社頭を辞する光景は、とんと見られなくなった。むしろ整然と列を作り、行儀よく順番に「二礼、二拍手、一礼」をゆつくりやる。昔のように脇から列に入ろうとすれば、皆から白い目で見られてしまう。

神社関係者にこの現象を問いかけても、「せつかくお出でいただけるのだから、こうしろとはなかなか指図できない」とのこと。やはり個人のマナーの問題と意識の違いとして諦めるしかなさそうだ。

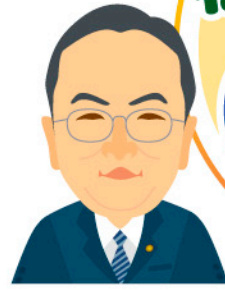
さてその伊勢神宮は、いよいよ2年後の平成25年に、20年に一度の「式年遷宮」を迎える。すでにその準備が着々と進み、宇治橋の架け替えも完了した。「式年遷宮」とは、神の鎮座される御社を20年に一度リニューアルすることで、穢れを払いのけ、常に新たな状態で護国平安を祈願するということだ。

しかしなぜ20年なのか？莫大なお金がかかるから、もう少し間をおいてもいいのではとも思うが、そこにはもうひとつの隠れた理由がある。すなわち神社仏閣を専門に造る「宮大工」たちの、専門的な技術を代々受け継がせるためには、20年というサイクルが「丁度いい」らしい。昔の人々はこうやって歴史や伝統、技術を受け継いできたと思うと、その智慧のすごさに脱帽せざるを得ない。

世の中は「変わるべきもの」と「変えてはならないもの」を峻別する傾向にあるが、伊勢神宮ではそのふたつを見事に融合させている。

(マイ・オピニオン平成23年1月10日より)

私の質問! Q&A



Q 我国の安全保障や国家財政の再建など、今の日本にとっての最重要課題に対する民主党の迷走・無定見さに国民の多くがいら立ちさえ覚えています。しかし、かと言って自民党に対する国民の期待感が沸いてきていることは、実感として思えないのですが。



A 今の自民党は国民民主党として何を指し、どういう社会をつくらうとしているのか、その為は何をどうなすべきかと言った明確な戦略が国民に示せてはいません。

現在の政治の危機的な状況を打開し「新しい政治」を実現していくには、自民党が我国唯一の保守政党としての矜持や立ち位置をはっきり国民に示さなければいけないと思っています。

Q 「保守」とは具体的に何をいっていいのでしょうか。



A 自民党は政権を失って以来、まだ思い切った反省と党の改革が充分になされてはいないと思います。



A 「保守」とは国家国民にとり大切なものとことん守りぬくことです。それは国家の安全保障であり、社会や家族の絆であり、世界に誇りうる我が国の伝統文化またはわが国民の節度・モラルでもあります。そして、それら大切なものを守っていくには、変えるべき制度は憲法も含めて、大胆に変えるのが真の「保守」だと思っています。

Q 「保守」を踏まえて、はじめさんが目指す「新しい政治」の理念・政策とはどのようなものでしょうか。



A 政策は多岐にわたりますが、明確な成長戦略を策定して、国民生活の水準を引き上げ個人間、地域間の格差を是正していくことに全力を尽すこともその一つです。

また安全保障の観点からも、普天間基地の移設をめぐるごたごたを一日も早く解決し、信頼性のある日米安保体制を取り戻すことも重要だと思っています。

Q 党の再生と「新しい政治」の実現に向けての抱負を聞かせて頂けませんか。



▲自民党本部主催の「ふるさと対話集会」。党が広く国民のなまの声を聞くために、各地で開催されています。



▲昨年2月に行われた「はじめ倶楽部女性の会」新春の集い。女性の会ならではのユニークな催しを毎年企画しています。あなたも是非ご入会下さい。

地元の皆様とともに!

今までの手法に頼らず、高い理想に燃えた「新しい政治」を目指していくことが党の再生につながるし、またそれが我が国を救う道でもあると考えます。私はこの様な主張をより明確に、より強くアピールしながら今後とも政治活動を続けていく覚悟ですので、皆様にもより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



▲すっかり夏の風物詩となった陽北支部の「夕涼みの集い」。年々盛盛になってきたこの催しに皆様のご参加を今年もお待ちしております。



▲記憶にも新しい昨年7月の参議院議員選挙。陣頭に立って上野みち子さんを応援する船田はじめ。



▲毎年9月の第一土曜日に開催される「船田政治大学」。昨年は元フジテレビ「報道2001」キャスターの黒岩祐治講師をお招きして開催いたしました。

編集後記
今年もはじめ新報を皆様のお手元にお届け致します。今年も選挙の当たり年とでも申しませうか四月には統一選挙がございます。県議会議員、市議会議員選挙船田元先生の選挙も目前に迫っております。万全な体制で取り組めるよう今から準備をしなければなりません。後援会の皆様お一人一人のお力添えを心よりお願いいたします。
編集小子
ご質問、募集に関するお問い合わせは「船田はじめ事務所」までお願い致します。

【船田はじめ事務所】
住所 宇都宮市一の沢1丁目2番6号
TEL 028-6666-18735
FAX 028-6666-8736
URL <http://www.funada.org/>
e-mail frd-info@funada.org

第16回 船田はじめと「一緒に楽しむ山と温泉の会」
日時 平成23年6月中旬予定
場所 日光方面
※詳細については3月中旬に決定いたします。参加ご希望の方は事務所へお問い合わせください。

「はじめ倶楽部女性の会」新春の集い
日時 平成23年2月24日(木)
会場 東武ホテルグランデ
会費 四、〇〇〇円

参加者募集
今年も多くの催し物を企画いたします。
※詳細については8月に後援会会員の皆様にはご通知いたします。

第41回 船田政治大学
毎回好評を頂いております中央からの講師を招いての政治大学は、左記にて今年も開催予定です。
日時 平成23年9月3日(土)
場所 大晃大飯店 予定
※詳細については8月に後援会会員の皆様にはご通知いたします。

